

環境保全型農業と地球温暖化 に関する国際シンポジウム

～地域、日本そして地球を守る環境保全型農業～

たい肥施用などの土づくりによる環境保全型農業は、地球温暖化への適応力を高めるだけではなく、農地土壌に炭素を貯留するなど、地球温暖化の防止にも役立ちます。そんな環境保全型農業の国内外の取組について紹介し、豊かな未来の農業を築くために、私達ができることを一緒になって考えていきたいと思えます。



開催日時

2010年3月12日(金) 13:30～17:00

会場：三田共用会議所講堂 (東京都港区三田2-1-8)

定員：300名 (参加費無料・日英同時通訳あり)

申し込み方法：

- ・ホームページからの申し込み

<https://koshukai.jp/earth/form.cgi>

- ・FAXによる申し込み

(氏名・所属・FAX番号を記載し、お申し込みください)

03-5774-1076



主催：農林水産省生産局農業環境対策課

後援：IFOAMジャパン

(財) 日本土壌協会

全国ITファーマーネットワーク化推進準備委員会

(独) 農業環境技術研究所

日本有機農業学会

環境保全型農業と地球温暖化に関する国際シンポジウム

【プログラム】

セッション1: 基調講演

地球温暖化に対応する国内外の環境保全型農業の取組



<講演者>

■地球温暖化に対応する土壌炭素貯留の取組

Dr. Rama Chandra Reddy 世界銀行上級カーボンファイナンス専門家

■地球温暖化に対応する有機農業の取組

Dr. Timothy LaSalle ロデール研究所所長

※ロデール研究所・・・米国ペンシルベニア州で先駆的に有機農業の研究などに取り組んでいる民間団体

■地球温暖化に対応する韓国の農業分野の取組

李 忠元 (リ・チュンウォン) 韓国農林水産食品部緑色未来戦略課長

■地球温暖化対策に貢献する我が国の環境保全型農業の取組

別所 智博 農林水産省生産局農業環境対策課長

佐々木 陽悦 生産者(全国エコファーマーネットワーク化推進準備委員会会長)

セッション2: パネルディスカッション

生産者及び消費者からみた環境保全型農業と地球温暖化対策



<パネリスト> 講演者 + 岡本 明子 主婦(環境カウンセラー)

【会場案内】

(鉄道)

東京メトロ 南北線

麻布十番駅下車 2番出口より徒歩5分

都営地下鉄 大江戸線

麻布十番駅下車 2番出口より徒歩9分

(都営バス)

二の橋バス停下車 徒歩 2分

都06系統 新橋駅→渋谷駅ゆき(15分)

都86系統 新橋駅→目黒駅ゆき(18分)

(タクシー/徒歩)

JR山手線 田町駅下車

都営地下鉄 三田線(浅草線)三田駅下車 } 徒歩20分
タクシー7分



【お問い合わせ先】

農林水産省 農業環境対策課 土壌環境保全班

TEL : 03-3502-8111 (内線4762)

TEL : 03-3502-5956 (直通)